

授業科目(ナンバリング)	地域観光研究C(ヨーロッパ) (CA204) (実践的教育科目)			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
観光立国先進地域であるヨーロッパの主要観光資源を歴史的また文化的な観点から学修する。 ・美術や宗教の変遷と人々や国家の歴史を経て成立したヨーロッパの「文化の多様性」を認識する。 ・主要観光資源の魅力の本質を課題レポートで取りまとめると共に、作成を通してその理解度を深める。 ・総合旅行業務取扱管理者試験「海外観光資源」出題内容に対応する。							②⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ヨーロッパの文化の変遷と歴史を踏まえながら主要観光資源の情報を的確に収集して「いまの様相」を説明できる。				・随時試験	30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。				・授業参画度	15%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	多民族、多文化が共生するヨーロッパに存在する主要観光資源群の「多様性」を理解し取りまとめることができる。				・課題レポート	55%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験30点 (総合旅行業務取扱管理者試験出題をイメージ。小テストを授業10回目と15回目の2回予定。) 課題レポート55点 (評価基準: 課題主旨の理解度と記述内容の明快度。提出期限は15回目授業終了後1週間以内。) 授業参画度15点 (評価基準: 授業課題への取組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。) 諸々のフィードバックは、授業時間内に、またはポートフォリオを用いて適宜実施していく。							
授業の概要							
担当教員の海外/国内旅行事業実務経験と知見による実践的授業である。視聴覚的教材も使用しながら、歴史的・文化的背景を踏まえた上でのヨーロッパの主要観光資源の「いまの様相」を学修していく。そして国家試験への対応も企図する。その上で学修上のキーワードを「文化の多様性」と設定する。また多様なヨーロッパの観光資源に対する様々な「気づき」「感想」について学生が発信する機会も設けていく。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。							
教科書・参考書							
教科書:『旅行業実務シリーズ⑦ 海外旅行実務-海外観光資源』JTB総合研究所 参考書:特に定めない。 指定図書:『ヨーロッパものしり紀行』神話・キリスト教編 紅山雪夫著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
学修上のキーワード「文化の多様性」にどれだけ興味を持てるか、がポイント。また、彼の地から発信されるニュース、例えば「地球温暖化に伴う海面上昇が特に冬のヴェネツィアにどのような影響をもたらすか」等に日頃から関心を持つことに期待する。加えて「欠席・遅刻・早退・私語」の無い授業進行への参画も期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習 ・教科書読み込みが中心。 ・予習は書き表すこと。
1	はじめに	授業の進め方のガイダンス。 ヨーロッパの文化と歴史的背景について、地理、宗教、言語、人種等の概観を理解する。	ヨーロッパ諸国の地理的位置関係を確認。
2	ギリシャの観光資源	ヨーロッパ文化の原点としてのギリシャ、その代表的観光資源について学ぶ。	ギリシャの観光資源と、パルテノン神殿、メテオラ、ムサカについて。
3	イタリアの観光資源（1）	ローマ帝国の繁栄、キリスト教の禁教から国教化、教皇と王権の対立、など現代ヨーロッパの理解の基礎となる歴史的展開からローマの観光資源を概観する。	ローマにある観光資源、特に古代ローマ期の遺跡について。
4	イタリアの観光資源（2）	ローマ帝国及びキリスト教、カトリックの聖地としてのローマの観光資源を学ぶ。	ローマの4大バシリカとヴァチカン市国の衛兵について。
5	イタリアの観光資源（3）	ルネサンスとフィレンツェの観光資源について学ぶ。	フィレンツェの観光資源と、ヴァザーリの回廊、カノッサの屈辱について。
6	イタリアの観光資源（4）	海洋都市国家であったヴェネツィアの観光資源を概観する。	ヴェネツィアの観光資源、サンマルコ広場、ローマ広場、東方見聞録について。
7	イタリアの観光資源（5）	イタリアの文化、食、美術等について学ぶ。	イタリアの文化全体について考えてみる。
8	フランスの観光資源（1）	ヨーロッパ絶対主義王権をいち早く確立し、首都として繁栄したパリの歴史的観光資源について学ぶ。	パリの観光資源と、パリにある建築物の世界遺産について（3つ）。
9	フランスの観光資源（2）	フランス各地方の観光資源について学ぶ。	パリ以外のフランス各地方にある建築物の世界遺産について（3つ）。
10	フランスの観光資源（3）	フランス文化の象徴としての美術館群とその収蔵品からヨーロッパ絵画史を概観する。	パリにある美術館について（3つ）。所蔵代表作をひとつずつ抽出する。
11	フランスの観光資源（4）	フランス文化の象徴としてのワイン、食について概観する。	フランスの食の特色について、特徴を2つ考える。
12	スイスの観光資源	世界最初の観光立国スイスの代表的観光資源について学ぶ。	スイスの観光資源と、ユングフラウ三峰、グリンデルワルドについて。
13	ドイツの観光資源	ドイツ中世の街並みを代表するロマンチック街道の観光資源について学ぶ。	ドイツの観光資源と、ロマンチック街道とその3つの城壁都市について。
14	イギリスの観光資源	大英帝国の繁栄と首都ロンドンおよびその他の地域の観光資源について学ぶ。	イギリスの観光資源と、国を構成する4カントリーの特徴について。
15	スペインの観光資源 総括	イベリア半島の歴史とレコンキスタ、首都マドリードとスペイン各地方の代表的な観光資源について学ぶ。  これまでの授業内容を振り返る。	イベリア半島の観光資源と、バスク地方、サグラダファミリアについて。 課題レポート制作上の質疑・相談。